

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
219	経済学演習 (永田良)	通年	3年以上：4単位	永田 良 政政・経演・国演

副 題 Subtitle	ミクロ経済学の行方を考える
-----------------	---------------

授業概要 Course Description	<p>ミクロ経済学は、近年、その内容に大きな変化が現われて来ている。それは従来のオーソドックスな部分均衡・一般均衡から成る理論体系に加えて、不確実性や情報の非対称性下での意志決定論とゲーム理論とから成る新たな分野が急速に発展・拡大し大きな一角を占めるに至っていることである。前者は経済社会における市場の働きに焦点がおかれるが、後者では、種々の現実的な条件の下での個人（あるいは個人対個人、組織対個人）の合理的経済行動に重点がおかれる。（比喩的に言えば、前者はミクロ・マクロ的理論、後者はミクロ・ミクロ的理論と言えるかもしれない。）現在では、これら2つの体系が2重構造を成してミクロ経済学を形作っているとさえ言える。このように短期間のうちに急激に変化しているミクロ経済学に対し、本演習では、旧来の体系と新たな体系を比較したり、新たな分野の内容に分け入ったりしてそのダイナミズムの源泉や行く末などを考えて見たいと思う。尚、受講者の関心によって重点の置き方を変える場合もある。</p>
----------------------------	---

授業の到達目標 Objectives	<p>ミクロの経済学の伝統的理論と新潮流の理論の両方に関し、その基礎を十分理解すると共に、両者の関係について各自がしっかりした見解を述べられるようになることを目標とする。</p>
-----------------------	---

授業計画 Course Schedule	<p>第1回：ミクロ経済学の歴史 第2回：ミクロ経済学の現状 第3回：伝統的ミクロ経済学の展望：特徴と問題点 - 15回まで 第4回 - 第6回：家計行動 第7回 - 第9回：企業行動 第10回 - 第13回：市場の理論（完全競争と不完全競争） 第14回 - 第15回：一般均衡理論 第16回：伝統的理論から新潮流へ 第17回：ゲーム理論の有効性 第18回：ワンショットゲーム 第19回：逐次ゲーム 第20回：くり返しゲーム 第21回：不完備情報ゲーム 第22回：ゲーム理論の応用 第23回 - 第27回：独占と寡占の理論 第28回：不確実性と情報の非対称性の重要性 第29回：保険市場 第30回：労働市場</p>
-------------------------	--

教科書 Textbook(s)	奥野正寛（編著） ミクロ経済学 東京大学出版会 2008年
--------------------	-------------------------------

参考文献 Reference Book(s)	
---------------------------	--

評価方法 Evaluation		割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)		%	
レポート Report(s)		50 %	
平常点評価 Class Participation		50 %	
その他 Other		%	

備 考 Note	<p>ミクロ経済理論の研究という性格上、数学的知識は必要不可欠である。 受講者には、ミクロ経済学の履修に加えて、解析学・線形代数の十分な理解が要求される。</p>
-------------	---

関連URL URLs for References
